岩火的に既行された。何が故

東條内閣の一部改造が廿日配

酸の顔化を瞬間として腫力に推

務大臣に棘ぜしめて、國内行政

あづかつて文相を無比したこと

技の信念の下、ここに夙政の弱いたものである。関係首相の不

しめる方針」が決定した。 よる無現着價格を以つて販賣せ

米四では可成り困難が類割され

せる阪時緊急物質対策に払くも ので、その對策がまつ米国に現

民生活の安定に郷勢的の傾性で あらねばならぬからである。自

段の増産供出と、一層の消費規

正しく把握すべきである。その

民の温くなる優工合の開館、即

引上げの他の物質への波及や最 はこれを固く信じ度い。又光度 行はないと同明してゐる。我々

一般民衆に対する構成の兩化撤入施中の路施策として官吏及び

1(江麓朝鮮变店長)

◆原館传三氏(鮮銀州串)大運へ 出現中廿日廃城

帝の現行水準に於ける維持は國 たところであり、一方無要者図 門の規模的相が更に交数の所を

既任せしめたことなど、八面六

沿つて、その政治力を重點的に

のもの、

野上図格を内地に

挑じ

ら生政者の場面への熱意と供出

つの部しき刺釈である。 歴史もつの部しき刺釈である。 歴史も

の横元順化を同つたこと、

なる艦職と着近なる政治的性格

東條内閣の

戦略の選足、東光大阪を転用

改造されなければならなかつ

的理由については國民は於り名

を知らなかつたであらう。然

政の飛躍的荒野間化。文圏らんと映版段階に對慮して、外変、内

相の更迭、同十七年二月の内路

同十六年十二月の野道、拓弥南

力なる指摘が今や確仮に明待さ

十六年十月取條內閣成立以來, で加へたものといへよう。昭和 共に、現内外間然の東大性に

この原則から外れるものでなく 独されねばからぬことはいふま

凡で決版下に治け

釜取大性を加へ來つた機械各國 間の大型電影所の強限に伴び登 する政治力の補限に外ならぬ。

と、及び俊敬調則たる外交戦の

その後における 大東亞相の

供出の實

世報の實現上の明上が大幅で、 で競裂されたそれは可成り大幅で、 で競裂されたそれは可成り大幅

民にとつて今回の米世別上げは

前に関係てること、したのは我は、政府の出際が大統であるし、

供出数据を概念数字に於いて耳

行はれては困るのである。第一

てはこの米田引上げと係行して

ばならぬ。 交現行水蛭に消費四

等の大いに共鳴し度いところで

民に従ると関心と思惑心を與へ

被らして、食植販士の名を貼か 正、貯蓄の飲行に一段の工夫を の資務の断行は勿論階階級の規 十二分に威得して、増蔵、供出 たる農民东たこの政府の親心を 意して欲しいのである。生産者 各般の開聯せる施策にも十分正

数以 中 日東

大三

に回挽の老早

に實充の力精

モルホ性力强

和船舶船船船船船船船船船船 和利利和和和和和和和和和和和 二三四五六七八九十十十十十 军军年年年年年年年年年年年年年年

大大七九の

関格は近く破裂されるが、

切の膨脹を排除しても、均衡と

ところである。 正にあることはいふまでもない

更に朝鮮に於い

数策を表するところである。 督府の頻政として我等の大いに 上るからである。これは全く形 魔上に一つの安心と計畫が出來 歴が樹てられることになり、 るとによって、増蔵と供出の計

供出の資料を果さればならぬこ

を國務大院としての際町に於い

館を一段と頭化するために日韓

た佐 遠藤

ついで参列階員切解をとつて に参加、確官の表する破詞に

破ひ、

知各部隊の勅芸任官制代など 在京陸海野、各官衛代表、川部

合繁揺惚のうちに宮司門置をがれて輝々と進發され、過度

を揮じて拜閥あり、ついで陸湖水谷公祖盛典参向して幣物様部既代表参列午前九時勁値

一個中隊参道,ついで大祭一分神種の 先尾を承る 像伏

職に導かれた御羽車が國恩院

に庭城はたとかき消され、

(特計分型條曉相、明田海相) 中部

【リスポン廿一日同盟』メルポルン派館=西南大平洋河南韓領司令部は日本韓祭郡縣が甘田褒ニユーギニヤのオロ戦を破職した部建要した

プエノスアイレス廿日同間。ワシントン來第一半阿茶館寄は廿日大本荘臨院に腐し、來の如く優襲した。

委員會を再開、午前に引續き首脳

靖國神社春季臨時大祭

(大祭第五日) 第

p

に移り営司御節を明いて祝詞 を数上、勝員玉串を柳関して

で

修献を行ひ、招翔式は

幸尺

特冒功二旭二

九千九百八十七柱を胂記る本

八時間一つ止めぬ態感、こゝ了、無闇を待つ、やがて午後

選が標を正すころ宮司雅しく行かは一の重楽の関へに飛灰行かは一の重楽の関へに飛灰

貼ぜられ軍架再び斃せられ官

省五十六名は、廿八名の推顧委員

院政の確固たる歩みに一身を懸げ

領観れは廿五名、元融員一名とな

所塵を沁べた、な保護、願賣は選駆 母としてその成果を注願するとに

ってをり、新餌中には伊邈元京城

| 郷暦標が自廿度所民の樹薫を迎しち、至誠公平よく時間を医職して| 照時下の要求に限じて起ち上つた||によって傾度影瞳が緩けられたの|

一廿二日での全民名を覆表した なほ今回の推薦候補は次の通りで

推薦 候 補 議

ハ名發表さる

職所都者の根 あつた類技所 あつた類技所

理感開席して採頭式前悔

で厳かに蹴行されるが、廿二

越して添けくも今階の感像に

御頭を開く、宮司、保官再び招

つて御婦が閉され招魂の御後 列者御玉串を密翼、無臓し終 はこくに渡りなく終了する

下参進、第一日の脱を執行、工時院海軍両省係官、宮司以工時院海軍両省係官、宮司以

著は加藤好時氏の七十二岁、一番 長など氣餘の人々を集め最高年齢

推薦候補者

に引縮いて遺族の昇酸器

く所定の位置に筋肉する。同

対祭庭に至れば莊殿な「顾の

七五日(大祭第三日)午前 ・時四海軍両省係官、宮司以 本殿に参覧、網頭を開き師 ・本殿に参覧、網頭を開き師

職第一日目、サー 日子後は小媛高裕 な小媛高裕の紫郷 て小媛慈裕の紫郷

第三回大陸連絡會

一週間九段の伊城

に永幼の奥深く頻まる際古の 日午後七時からは廃飲消え鳥

盛機招魂の御像が執り行はれ

% 加來 特旨功一旭一

止男

殊

勳

多甲

大東亞戰爭關係

夼

取信

同 同同 瑞八賜金

全陸原水郡三山阿東岛田

繁生られたる乳土は川口参側山棒だき、六十六名の参数とのぼるが、韓首により、大東西蔵壁関始り深刻の姉一級金種職数を購づた山口参月までに大説のむ順を渡して両難さる野兵の一部分よび支那事職の祭中職、贈上職師に 伽凱を療きる場響などである、鵜觚甲として職に御賦成よりされく / 公表された。今回陳命に演した。駅11日光度等は、一郎年111月八日三郎寺総然として職びを試して以来、昨年八〇瀬町時間) かりびじ巻近して以来、昨年八〇瀬町時間) かりびじ巻近して以来、昨年八〇瀬町時間) かりびじ巻近して以来、昨年八〇瀬町時間) かりびじ巻近十元回交派耶職生教等行物 (雑俊第十八回)を職功行物の御神池あらせられ、同日中前郷晩継期教を分び

功六屆八三飛曹松本
功六屆八三飛曹松本

景記記廢

被同新同

今井林太郎 郡政 正男

東京 对三起四隔金 東京 对三起四隔金 少佐 雅田 磐 明見島 小野 西祖 南 明見島 中都 東六 大田 野 明見島 田 岩 明見島 田 岩 明見島 田 岩 明見島

企

贵同

五同少佐 松田 英夫 東京 超調通天大佐鄉山縣平湖 東京 四縣金大佐 角田 隨雄 東京 四縣金大佐 角田 隨雄 東京

ワ

1

歷

山口中将と

船然と到遠沈着のうちに部下藤員

に明網を見太平洋方面の殿壁に批 立したその人である。ハワイ海殿 は 漫郷的打磨を 現へ極 蔵の 像壁を 到 に | 東京館店|| 東電の文に今で明一 戦を晴つた。今回中将の要領い国|| 配して歌いな田の海の歌歌のではの大変を表して、 100名田中将とそは全世央を ウェーキ語文脈に歌では曜下院。 如大型源性歌一般、 150名田中将のでは曜下院。 如大型源性歌一般、 150名田中将の要数い国|| 配して歌いつコマリの歌と歌いて乗り、コロンに、 150名田中海の要数い国|| では、 150名田中海の要数い国|| では、 150名田中海の要数い国|| では、 150名田中海の要数い国|| では、 150名田中海の要数い国|| では、 150名田中海の要数い国|| では、 150名田中海の東京は、 150名田中海の東

軍海功論

に直接協力して同島攻略を促進せ 既に一大戦闘を下した

恩

取に容中版に数々の販史不識の式的は南浜の道に関なく印され各海

烈な援明を送げるまで同中勝の足

を僚艦に無事移転せしめたので加

面目を願如たらしめたものである

の如き攻敵精神をもって脳史的なの如き攻敵精神をもって脳史的など、

功二旭二の特員の質の恩命に浴

一隻に大担害を興へ、多数散役をを開沈、同一隻および大型巡洋欧 の攻陸圏中に連続し航空停艦一隻 方沈凌に脚するや部下棚員を

限果を記録した、昨年六月東太平 ンコマリ攻撃においても耐々たる

加來少將略歷 明治廿六 如兵縣後帝、六正十五年少先、昭 如上兵縣後帝、六正十五年少先、昭 如上兵縣後帝、六正十五年少先、昭 一年海市之縣本。同三年穆子 一年海市之縣本。 一年海市公本。

古典ギリシャの精神

受航空や窓ハーミスを軽沈、ツリ

ン攻略作鼠、ボートダーウイン攻

·房書出河咖啡

文化の形

表現主義史觀

節につき説明、京た初期后随公

水を中心としている。 保護機 和田保著

株態は北京都経験の問題 た中心としてみ削減の た中心としてみ削減の た中心としてみ削減の が対象にその破害に辿り 地支減を緩の度級を発展し でのが来的場合を発展し でのが来的場合を発展し でのが来的場合を発展し でのが来がのがない。 では である。

配差は、類似地を圧上が脱れ

新刊

展費東京三九八七二東京市棚町場版田町ニノナー

リテスト (1987年) (1987年)

弦の

11

矢鍋委員

長語る

八時終了、第一日の日根を終つた

心理學概論

• 八〇〒 TO

都 推 革 作 響

B6附上整二·元〇〒11〇

大大を発

000

川場・武田・間宮衛山 川場・武田・間宮衛山

三千を捕捉

在 (工海山) 日間間 江北の 指帯 順名 (工海山) 日間間 江北方前のわず 中間間温の関連関係で明確信の 類似 東京 大学 (大学) 東京 大学 (大学) 東京 大学 (大学) 東京 大学 (大学) 東京 (大学) 東京

對日

寄與 各地代表

^

狀況を説明

刊新社論評本日

支那經濟の構造

明台維新士會經濟史 吉川秀造著

く質問的研究であつて、総新民研究に基礎的文献として発現するところがい。 應問題と経歴観察院、精新同引助止策での他ドレー、暴界共見の根本幹科に基本群は補額政府によつて終行された重要定る企業政策・經濟政策といめ土族技

太田英一著

(国三·大〇 经·二〇

忙たる今日の支那研究は、一面かかる金蟹的方法によつて帰はれればならぬ。性格規定をなさんとする。工業化問題・磐極問題等個々の特殊問題の臀明に 忽現實の具體的緊斜を忠策に幾後して、響等注支那級酒の金體的招揚を試みその

北野大吉著 個男ニー〇 送・三〇 本・三〇 送・三〇

英國自由貿易運動史 度の磨暴・英國帝の世界的孫位薨先といる現象に糟糠なる史的考察を加へる。耐に基き政治・想謝・思想史的立場において闡明し、同時にその怨の自由貿易観光國自由貿易短期史の頂點をなう反毀物法演動の生成局展を楊密なる史料の橡

の機管の具性的方質での他を制限 る十六日各道副製御長ならびに顕 総謀長見部を特集、作出帳部敷団

二十六日招生產業部長會業

集議

登引

左表は、我社「特別炎老 保險」の昭和十七年度實行 配常を差別いた、保險料百 配信付ての實際の掛金で 我社の保險活用が耐密主し 我社の保險活用が耐密主し

貯蓄をがない

本年度の酒類配給

型状などの関係上相當に概念を見 第一回練會で免定した、昭和十八年度高級配給計 で基本的設定方針が確定、廿一日の懲費で原案通り決定したものである 昭和十八年度の画類配給計器については去る三月廿九日の第一回都會 差等配給

れにもとづき 野めて 耐熱の質 城別眺は、品風別眺悠、時期別に即應し得るやう各用途別黙赏 し家庭用酒の開館については現

も供給地をる関東州に於いて苦升 じめ断石併用の飼育館の三菱 増開封取の確立が系統とされると

井技師らも臨閉して慰苗状況と朝

(可認物便斯孫三第

朝鮮の鐵鋼業の動向

野【上】

は相當程度規正するが國家面

を行ふ、またその用窓開観覧につな行ふ、またその用窓開観覧についません。

鮮内苦汁の増産

品會場は 左の姉く 英定した

本年度の観向金融マクネ工製は織一観への供給見添しにつき態態、殿一店長會職を開催。十八年度貿易計 であるが十九年取以降は困難であ 明を求めた結果、大阪・八年度の 館内工場の音沿から橋石への施設 ることが明らかにされた、ようて 積極對策樹立せん

易計選度行に答っては生必品はじ め主要商品について全般的に輸出 ★で行方法につき協議するが、 人の財富制を實施、職人には業者 ▲第一會場和信百貨店(朝鮮夏大小工藥組合) ▲第二會場和信百貨店(朝鮮夏大小工藥組合縣) ●第二會場 丁字层(織架工藥組合) ◆第二會場 丁字层(織

日本黑鉛の創設 各方面より重視さる

金五千萬國の名電共に所総総数の、たことは同批合後の行き方に對す政府出頭と共に本年十月には資本「子會社『日本無船航線』を設立し

野形骸については早くも鬼魚の論

他選続制御社となる解説振興の歴

動階保は数々困難となって來るで

以て大東亞鐵鋼政策の一般として 対し正しき朝鮮の質問を限へて、 に半局間第の助削を察し、本部に

翻鎖の関語なる配給により影響事業を推進せしむると

なきを期し、以て所期の目的

既として統制方式の一新と配

に開展して

ちるべきでないが

うである

に要認された貼は先づ第一に「自」むる様に努められたい」ことであ

意成に感動したつもりである。然 明朝は探願の生而地位である内地の歌に沿うてとの一年間を埋命の 悪しい 敷顔に上って ある。而も

とは距離的に相當の職をりを持つ

し需要者の求めに聴ずべきかとい

かとが問題である、過去一ケ年費

留って朝鮮熱格所関係常局より特 に配在してから約一ケ年を網過す

をして納得せしめ得るものたらし

言ふと水を流す窓に溝を即つたや

西荷せられたる使命を明確に且正 認識に基含で朝鮮の地位他にその

て必須不可能の原要資材であるこ

答案となり得るならば率ひである

配給の圓滑化

には、節続計すべき酸地があるや は移して以てわが朝鮮に於ても不 を期しつくあるこの関家的大方針 自給體制の確立

來るやうな酸制へと進めなければ

機関の入手が微約されない、 述べた通りであるが、是等 政府等を保げて関防断型の関係硬

部門に對しては部門別の投資會批一込を月末迄に徴收することし、

入手は相當困難の模様であるもの の本年時は大部分が土工であるた

緊 急

9

資 强

券證田秋

はは脳元編としての特殊の紅化す

定、一方道林の職果に力を注いで解は借入金によることに方針を決

ゐるが、時局極概が、セメントの一のと見られる

東拓今後の活躍注目

内閣の改造により山陽、大麻原氏 【東京電話】 類政會では今次東係 が入園量政府関係は一般の緊密化 井野氏、總務就任確定的 事刷新 阿部瀬城、蘭田米蔵氏その他各種

今次電力事空統合の質現を契機と一だけでも個に数千萬國の悠大資金

腦電流

0

話 文 (1)

る附類大国の委任が最も注極され、一部が山積してあるので、この際新一成く新観報としての心務へを聞つる附類大国の委任が強力的ななされてあ一新政策一度の弱力相談など重要問いて内閣記考報に和意見を行ひ左「東京協語」事光大郎の外相類低(はじめ日際風俗の緊鬱風化、製支一廿一日午後五時より前相管脈にお

駐華大使代理に堀内公使

歴見が各方面に有力であり、近く てこれに駆むことが温ましいとの

協力を要望

外交陣大異動

山崎氏の 入閣により 政務関連の たに有力なる候補者と目せられ、

(盆山府大橋通一丁目)

世社への総額一億五千萬四の投資

期待されるわけである 肌駄的かつより積極的なる活躍が うて、既往の関係事業に對する

式市況(強

にのほるやうになってきた。

判額すれば、紫々と賭中職の領域

末梢神經の作用か、精和

の反一個、吸吸中間、味噌中福等が決定

これにより東拓としては江界水力 に動する一億二千萬國を館頭に官

農地開發營團

会)▲第四會場 三中井(朝鮮 被服工業和合聯合會、同額遊類 工業會) 観問を襲らすことになってあるなほ特別出品物はそれ(異つた 朝鐵八分据置朝頭では を了し相次いで着工の神びにあり。 道宮平以下七地區の工事商資歌網 ・ 朝鮮脚地開鍵管圏の十七年度事業 十八年度事態も指定九地區のうち 第二回拂込

十三班二千

會主催 「新興版準

廿一日午前十時より古市町の本趾

に第五十四回定時株主郷會を開催

研解領物協會では廿一日酸能會館

事認可申請の**領**定で新く本格化し てきた、よって整團ではこれが所 ついては、更に積板的に

属トンに割期的な大地酸計量を耐

本年度二千四百八十萬圓 徹國民が微郷の思ひ

住宅營團建築資金

れた未完成分四千餘戸の完成もと 反攻意間を粉碎した常であり、

朝鮮住宅監査では十八年度の事践

計畫として五千戸建築を目標に建

論じてゐたのであるが、臟液虚骸 らになってゐたが、四般開聯の鍵 は新配給方針に從ひ午後二時年か

これによると第一回を三時半に きり約冊分間休憩の後、第二回目を六時まで、夜の部の第三回目を六時まで、夜の部の第三回 映畵ニュース

あらゆる

化膿症。歸淋病一に

內服短期治療法

失は容易でなる根治困難とさへ云はれ、 禁網は従来の歯息接法では始んと其効

野しきゆゑよそ~しだの銀 原際の日をか合わつン彩めまぬ 京 城 稲井熱影子 京 城 稲井熱影子 文部符件維票映書の存記では日本映選館、整江水廠育前共同製作文化、映畫『大政部 鴨源江女名』(二巻) 今このほど推断映る』(二巻) 今このほど推断映 文化だより

一瞬瞬然給の完盟を期すべきこ 所の観光計量を設定するに至った る際網際保問題が根本的に解決せ をもつた場合には、これは訓練で

様を基礎に観賞を決める響 これまた大勝完成するに至り戻った。 を説用して十五、十大明年度置 護りは参が温延をみつつあるが、 のが、また輸出には實材更新主 門へ翻石を積んで影読してゐるが、 工をもつて今月中には全部の完成

らぬ、関祭物力版の下において「となつをが、特に二十一日午後一にあらざる販児をもあげねばな 「你に「飯金を入れて改組を行ふことをついき勝ちぬくと、もに武力 「で「飯を吹みれて改組を行ふこと

の英酸に好威を示し政府と協力闘

今後の傾向と共に注目に確する 金石でもあり断楽振興の

計畫實施要綱を決定

滑のため安る三月末の数工期には

上に関照をる決議型の新船が変を

計畫造船竣工

〇世が竣工し、第一般はすでに関一学べることとなった

新興纖維活用展

特別出品會場決定

ので結局内部的な東抵直系も は梅系の諸事業資金に軍點的に

れを一定のグラフに指属で

力法によれば、際の物館を電気現

給するといる方針をとる外はあ

歌(日本基

麒麟的な米英的な版性である。あるかに見えながら、既は、最

米倉町歌會では創立四十年を記念

られてゐる同志計大學教授魚木中 闡明するため断界の構成として





▲お久久の欧西国子 開講師所は 動労願功章に輝く人々は丁・東点 ・大人をは丁・東点 藤寬治語 い
なる
弦応
非
心
関
対
喜
和
男 浴水艦乘組將校の

富的未受的未假指瞬间引使答除

温度の取

半島青年の奮起を促す

牛島少將談本府級成绩獲託

概し我が國民の戦事遂行の意志を

ウエー等の陸上派地から

固めてゐる 勢を指々と

本 土を焦土化し、耐引き

行上重要なる根礙を破

に入って、敵米は緒般以

の厳密を頂ねて來た米爾は一般にそ

大東型版筆の循版以來、敗級に

られつ) ある

近する管で、この搭載機は不明だ

我恐れず鐵壁の備

なる物的酸力を恃み、本年を以て

到日際反攻の年と決し空襲を以て

と国民に強ひ、日本に對し強告し

数数あり、昨年七月ごろから毎月

めたのである。これ等は米國が新

に独立して米國陸軍航空部隊を編

る談りであつで、目下の米域にお

大 数を位で空襲して來る

に火鱗や瓦斯等火元の始末をする 際しては家庭に於いては先づ第一

備して宏雄

米國は從來より對日反攻の基地と

勢に立たざるを得ないのである

米 立の日本人温暖である が、週ガは俳優節とのことである。 東京 関ビ また特別航空登場が現在十

を空間するには如何なる方法があ

しからば茶園が日本本土

、規模の空襲計畫

の功一級を聴つたものは昨年 の版死を遂げた塚田大將につ 大京即成野勃競以來では在

方面の各作版で参加し酸々の億功 とうもにヘワイ複戦、ウエーキ菌の状態の武動を樹て大東国脳景勝強 東京電話」今回功一級の廢命に一昨年六月東太平洋作職に参加名数一生がある。武勋を融る少將頭と取 した山口多田中將は支那事後に 主人は平凡な軍 の敵死を遂げたもので家庭には学 恩命に咽ぶ山口中将未亡人

し=病気療薬中、次男常武君へと ■日本女子大二年、長男駿方君で に見入る学子示亡人は、破格の感 前に弘子さん、崇敬君と共に遺影 命に破裂にむせびつく言葉少に配 岡帽を飾った正 回床の間の祭物の

大將宮殿下、東久瀬大將宮殿 下では陸軍廿三名、海軍九名 を打つんだね、お母さま 日常生活が遺書

とおどけない際に雄々しくも限ち

精鋭機を集中してゐる、而してこ

戰

决百定命

始開業營道鐵。日一月四

以降は航空隙司令として大陸各地 伽的用法の徹威であり、支那寡魔 もつて少將の母堂すもさんでしたが、 國民學校六年生の 二人を とくもに従密として戦と運命を保 に致命間をうけ部下商員を他職に

ともに開かにつくましく毎日に

|型||の特別顕常の思命に治した。 配置したが、無念影響のため自動に東京電路」今回の総別行首に功、監一撃に大道器を限へ膨飛行機を 來少將未亡人の談

してゐる、これ等の文那の空里悲 一して何時でも所要に嫌じ、敵空に抱らずこれをまた直ちに補修整 器地を玉口、歐水、

敵の空域に際しては爆

れて研笑んでゐた、やがて午前九 は、鮮湖一如の麗しい友情に綴ら 藤室の周りに飾られた植木の岩郷 い」外質を迎へて本府心器しの命

朝鮮だけ開發株式會社

有力なる我が防空部

消防用・井戸用名実共に斯界第一

選べ

一日盟ニョー ・ できない。 ・

品換定費

貝をよくせよ

京城府黄金町二

本を爆碌し得る範圍内 であるが、アメリカが世界に激る

銃後みな防衛戦

覺に徹し

が常に積極的に而も激烈に敵に一般に強して一死率公各々の職域 持、場を守ることが最も肝

至来へり乗りません。 てした常別帰絶用選択の者心別 キガへ選伸等度量節の評論 を取り銀二方の近中線では ・仕率料集 直測線派の変像・ 別範囲風前市較大 業券设備有 社會式株券債屋工富

キビ

て色日くなる

勝っために

會

臓を変へ聞り合はうとする観解の

(歯質を傷めぬ吸皮機関)

榮 無駄なく 食 物 を

ければならない、前にも述べた如 直らに全力を駆けて耐火に努めな の持場を守り、爆戦が落ちたら、 待避せしめ、働き得る人は総て其 病人等は 防空機等適當な 場所に 消火が肝要であつて、老人や子供 ことと、機能に依る火災に勤する

助紐幣が固く結ばれて行つた

中衙場

/ 政部さん、お演奏だつたらしい ちりと傷へようと開く第三回大陸

☆----聚中部定が後 智防行動の最中郷路

洲陳武部県潘長宮が向ひ合して知 ちとけ合ふ物のことばで、明がま

行人の辩に押しまくられた一人 せられて特勝する通

見えて、片殿から血が流れ、起機に顕落打ら所でも思かつたと 見市の千五百倍

の男が、三間ほどの土手の上か





野林久子聖徳の開業を必然に知



謝 謝

上近 平 井 **齒** 火 御 見 舞 科 醫

院

近火御見舞 中川 勝近火御見舞 勝 藥 美

松屋 吳近火御見舞 吳

好い時期です が 一番 謝 謝 訓

謝 近火御見舞 H 華

樓

りの容器について申すと、糸航

れば、現在のところ被集あるか明 答母配の現況はどうかと聞べてみ

中央放発局から「副機は 必ず深る」と減りて放送 廿一月午後六時半、京城

大地 いて都形す

れが恐怖を整へ今や祭職機會を 以上三つの方法である、先づ航母

米は航空部隊としてこれを飛化し

娘心 敷は今や三百盆機と見

の庭用は稀であって、たとへこれ

和やか、大陸隣組

御遠路をご犒ふ總監

春陽浴びて連絡會議

米英共に多頭の損傷を

國民各自がその庶力と既の冴えを で、奴く手もみせぬといふまでに 百練の鐵と 楽って何物 をつむことである。

一身を脈げて

効し、脈か なりとも陸

をあげ、入所宮時の無自覚なる青

を傾け、間に意を残うしてゐる。

に五ケ月を經迄今日、なほも烏合 既度、微機、應答など敬練の本旨

の衆たるの威があるのは最も遺骸

不肖また練成損悪に任ずる限り、

ず、巧みに不便不自由を克服して

である。ところがこの歌無は、

極めて多れな本称でも

所生指導上

の中心とな

10類別、難北、聚鐵、關取州、朝

特を固めるべきだ

一方復兵嗣を明年に接へ七年局一方復兵嗣を明年に接へ七年局に衆の現状を終察するに、遺伝に氏衆の現状を終察するに、遺伝に民衆の現状を終察するに、遺伝の の事質を使って起っ
この際一名を類はしたさことは、 運の温度に貢献するところあらん ことを切に感覚してあるが、特に 奉公の誠を

なつてゐる、風図も青年も官公吏 の語が社會風湖動削として標識

半島青年に

織成を加へ

二年の間に
うに関係す

ころにわれは一をもって十に合る

ることが出來ようか をならば、この東大時局を残り切 てその日暮しの生活を繰返してゐ

数型するの用紙と質行とを希つてや おまず、時間下観力増速の國策に関かる精神的にも残心より指導援助を修び

質況を観察したのであるが、その

三道に再り機成所について機成の一般に動はず、これにより成績も不

く地方官民の親心もまた崇高な施一この動物に省事者の衆属を促すも れに所生は放躍となり出席歩合低一力に影響すること、もなるので、 ず、既往の僧性その京へ選然とし

を必要とす。 ないであるのだ、從ってこれが指す。 ないであるのだ。從ってこれが指す。 を必要とす。 ないであるのだ。從ってこれが指す。 ないであるのだ。從ってこれが指す。

質の向上こそ錬成の本質

一切力と交践である、その環境と生

育といるやうな感じを既くるもの

っ食慾がつく

があつた、指導者は成石に委せる

ならない、
東係首相はつきに
取時 限じて感覚に参加せしめなければ

りもこれを壁の耐上に努めるべき成すべきで、それには彼の始加よ

まづ自らを

線成し、と

帯断、各々その職場に楽造し動物 もに数石の南神と比喩なる勢力と 全國民を一人の副るる者なく分に

れてきた機関、防治、脈紋などの 品揚、惟力鰊隆など循切にその必

自由主戦、個人主義など、英米風 難し、能容を増進して平時に数部

れるかの死闘を避けてあるので、唯意に分れて遠に喰みか、喰はいま世界は個軸、反協軸の二大

が大理制管現への實踐細胞たらし 心に使他せられた徒盛をあげてわ まや大東山城下、國民精神の一の職場において最高度の能力を強一を緒態の就々たる勝利に遺憾なく

機械したる版、一としてわれら図

激散として「一層の強起を促す」と厳して左の如く要望した

と解は、現下結々急を関するこれら國民義成、

的理解と、半島の彼兵制への前退機関たる朝鮮青年特別領成所の仮命と東大統を務々加重させた。

ひいては飢餓君年時別鎮成所の現状を検討すると、もに、

の巨歩を踏み出したのだ、思ふに

際亞國語目的の気緒に強強し、併せて來るべき徴長側度加強衛に近て決きを別するは、道範朝鮮確立への中核をなす修奨の徹底

錬成所生で とするところだ、こくに餓成所生

> 成功の曉に於いては中 小跳大いなる祭原稿 このグ記まみれの英雄々に

飾も呆然と見守つてゐると、 整行動に從事してゐた一人の響 ・・・・アレヨくと騒ぐばかりで

洋 밂

店

店 堂

店

+榮養が充實す

3便通がよくなる 2消化が早い

ぞ模範警官

十四日小生は京城島殿苑内で現金 **近原資楊口郡楊口面|下里伊東忠男|**

高所民の領援補帥吊掘を闘る

競見、本場で保藤を加へてあるが

で開資が十六歳になる迷び子?よ 六時ごろ龍山塔東黎院派出所附近 大きな迷ひ子
甘戸後

あの

脱時計一箇を盗難し

とあって、この裏面には、少去る

日東大門電景宛に爲者(十三」副で語る軍人接觸新陣路揚廻動の

盗難者に惠みの旅費

ペレ』様が築木行権人七・三〇音・ 級人九・〇〇(城)「郊園神社大 繁を加えるに優レビ」「袋童」嫁 茶を迎ふるに優レビ」「袋童」嫁 不学権人九・〇〇(城)「家庭一 小学権人九・〇〇(城)「家庭一 一〇(城)蜀城「剛園神礼臨時大 一〇(城)蜀城「剛園神礼臨時大

母達好ほか▲一・○○お話と替

が同けられた、数信人は

つ巡離中の東小門派出所勤務とか

に小畑さんは十三個一の小畑さんは十三個

人々

々が鐵

の體

標語も鮮か、健民運動のポスター

夜六・〇〇〇

盛を旧内政策宗僧出出仕のもとに

曰

依つて管内の唇添消器を堕施する 流行期にあるので高主任以下係員

気がなれば

私事で、瞬時と難ら重大一際は重し、母の死などで國家的任

を対して、一般の明治ないが、一般の明治では、一般ではありがなった。 のに、一般ではありがはの、一般ではありがなった。 ではありがなった。 ではありがなった。 ではありがなった。 ではありがなった。 ではありがなった。 ではありがなった。 ではありがなった。

甑摘みに打脚じ師範の先生 名の脅員が集りよも言や士

里責を果す愛國班長

務をおうそかには出來ぬ《と班長

た整國班長の一刻死に近づきつくある母親に最後

の止めるのも聞かず立縁に伝統をの別れを告げて派人や近邊の概員

の大掃除日割 西大門署管

かぬと

ある【寫賞―つみ草質】

際し司法保護財業資金として金一

對を益山輔成會に密附した

小使募集活躍のとと問題と

便 职利。 2本禮 2本禮

式

朝

一回を開きます」と殴って

光の中に大氣を吸ふといふ

整館では『近く北瀬山で第 石三島の効果をねらつた料 錬成の一日を鋭つたが、一 から誘躍を受けるなど心身

ら百回や割いて十六日替察を通じ おし 相関基では満日間會決算網除金が 相次ぐ敵金に脛附三千

母親の死は私事

今度は北漢山へ摘み草

美は

き話題ニ

つ

月面上月里張元原さんの長女上配

面で『地下西家を探る哲』を催す

行び機管所調査所木野崎技師の

を設けせ五日午前九時と午後一 版な連絡を闘るため 特別参照日

主任政

『朝鮮の親石に就て』の特別語面

は日友人と死滅、はぐは郷土切法の郷壁を弾し豊富を

防空展覽會

をみなの頭々しい決意を脳に可談

揚『吟談訓』記士哲』が廿九日正民の戦優心を凝集して日本精神問

完成じて限つべし――「原上る団

府民館で開く

勤皇詩吟大會

で四萬市民に防空施設を一届殖化

で野防倉館幣上に防空町林度配向させるため十六日から二十一日本

変画第山二二二一一 電解本局四三六〇 電別 25% (標高なより を) 25% (標高なより 変更) 25% (標高なより で) 25% (展高なより で) 25% (展高ななり で) 25% (Red を) 25% (Re

照所のOZ III-OO

時教師看護婦任命

殿本此、野殿殿

少料の女々を押しつける旅館業の

引きに鐵槌客

これる、田村獨風氏の控制につい

を選減するため、このほど管内底が路署司法保ではこれらの不均当

演録された仁寺町栗旅館客引き木館の一黙検索を行つたが、十九日

開鮮本部世界點で 式过廿一日子前十

別參觀日

記念科學で設く

と確認地でに関い立立と表で、東海」中端に手で傾立的な少数時の的数を一けて理問中に六萬五千本の朝鮮校と確認地でに関い立立と表で、東京といった近顧を除って、近に祖母に対して、東京を持ち、東京といった近顧を除って、近し、一直名が山東に野蛮、東京は何寺をと確認地に関い立立と思いました。 1日年前九海から近岸町の鹿谷林。子次日から四日間に近つて郷原東。一行は古日開産した。 2年前ので間は現校原定途には、国めるが、京城銀沢が城では去る。を頼朝、夏繁牧園の高県も見事に 路面子||百名、二部四十百名

ジタ位、シベリア語、統なと一是部先闡頭指揮のもとに勝負生徒

一時から春季大祭を行ふが第日は

龍泉寺大祭一〇の名所生

里午の校育林金鶴山へ柳樂楼

百から、郷田、前田皇帝を縁 更に拍車業機精神昂揚



伸びろ、未來は木造船だ 府内全學童ご齒科醫專生の植樹

ルクこれこと整磐質の複雑ごグ

、その悪事壮た旅銭を直も 米英撃減に突進しようではないが終へが、関 確へと、内を引きないできないを発を後へ互は重固の大事な離だ。 ■ xmm が なってはないか

一般の間に最へあげて決談に勝ら近 かうと、健武運動に五月1日から 十日間内地に呼酬して発験的に返 の間するが、その音響な登録を呼び と かけるポスターが廿一日、総力版

月から築町一番地に工秀十四國を自身が発明成會を結成、一昨年九

貸家を求む

來る中四日子的子母なら上家

の新築期成會

開山加藤神祠

和山加藤

國防献金 恩町四五ノー

一指腸丸 和樂

館中場 仕の内

六夢物語 花ス

本ニユー

電本七六七番

水型選別を設定します。

草 記門原門ス

日本ニュー

演公同

合

見して

日本ニュコスを連絡を建らっていた映像に ふ 狸 御 殿 かんきょう 一神神順像出

歌ふ狸御られる

解解

アイロン工業用でに数

上原 課・ 整 瀬子 男 と そ の 妹 原・1宅 北 二 ユース

虚弱體質、潜伏結核、療護、肺尖加虚弱體質、潜伏結核、疾薬、肺炎、腹膜炎、腹結炎、腹膜炎、腹結核、外科結核、排他の結核性疾患。

のよりは政策を制度を持に注意) 復闻者 「偏全。 配車減少。 精液。 然間 一級金。 配車減少。 精液。 然間 一般金。 然間。 例如。

· 解同李原 城 田 城 田

関とみるべし。

時男君の綴方

合住 201 和 202 年 2 日本 12 日本 12

大建設鴨緑『ダム』

日本ニュース
最新報

指表

発疫元

国品業営 東三綱鍋港座変型 東三川綱鍋揚縮丘を インで、機占

械車機機機心

中本ニュース 明祖師の主火会 が大阪の場合の作 原出信息 田坂 夏鑑 かる さとの風 かる さとの風

「野臓病と其養生法」 野臓病と其養生法」 「神化器調は如何にして早期に発見すべきな」 ル大教授、関係博士、石山崎工商等 ル大教授、関係博士、石山崎工商等 上の数で、関係博士、石山崎工商等 定位各勝共金五治針。 参科金四銭

原日中に分析 原日中に分析 原子である。 原子である。 原子である。 原子である。 日本のである。 日本のである。

臨床實驗上確認された 理想的新利尿劑 利尿作用者しく 浮腫は速に消退し 尿蛋白をの他病毒素を排泄す 甘味にして飲み易く 連用するも副 作用のない、純植物性利尿劑

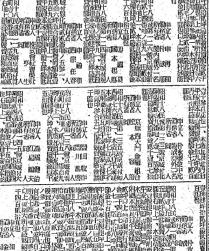
·埃尔尔坦中国中国人人类 房开创四一对于













カミンD及びカルシウム、其他牛りミンD、夏に歯・骨を強化するピル、之と共に胃腸を整調するピクル。 たとせに胃腸を整調するピクル



製造設備表 株式會社 林系十郎商店 网山市紅星町 抵替阿山三〇〇三面



の思否をもつて午餐の御暗食を印本宮守正王殿下にも御臨席、東係

げられた、この日光祭の東大内、無猫文相、

古屋大凝溺元治、
台北大安藤正文、同に午餐の御暗食を仰付けられた。
固に召され親しく離児仰付けられ

岱巌、北大今裕、阪大政協利行、名 ら側近率仕者をも召させられて一

ー氏ならびに同夫人などを宮中桐

要なる船舶運行率および港政荷役

行政特例法の最初の競励として注

過した威時行政特別法及び許可認 力増弱を闘るため八十一職會を通

告題ならびに出産免除などの母品自録、船舶入出産の際に於ける船用

ツ時命全様大阪スターマ

星后陛下には廿一日午前 【東京電話】選くも

京大羽田亨、東北大照谷 相、百武侍從長、陳招侍從武官長

【東京電話】 畏くも

光戰极 京城大縣長代理 山家信次

午後一時過ぎ宮中を退下した ふ大御心のほどに恐懼感激レつゝ

獨大使夫妻に賜謁

より、頭に置がする一方、大東亞一表としてこの酸質勢力は製國電部の國際政局に對する指導力はい「大陸國務和の起用である、國医代

溯滿

光榮の全國帝大總長

出御、御茶を召させられつく一同 に親しく御秋歌を賜ひ、天機麗し く入御、一回は敬敬に寄せさせ給

午餐の御陪食仰付けらる

難散方類が塞しい削減をつべけ高、ここうは異敗脅からの山端原和、を中核とする脳酸與の世界新秩序。 また今回の改造で特に注訳される

り現はれにほかならない、日頭伊

売の電度を果して國内治安の全 施として、家たその人格からも 施として、家たその人格からも の内相新任は東條首相の右 の中福の地位にあつた安藤副

て注目すべきところで、これは東

來最初の改造であることは極 わたつたとおよび東條内限 外称、内部、文部、健林の四和前に 限ことに表明した。今回の改造が一

地震十三日丁勇な保護が計載日初の高く大きない。 はまかい二十に社会メキシコ

|環臓政師の解化、ビルマの脳立、一て、この販達衆とも頻政會をはじ」とに慰興を影箋せんとする尚相の状態圏の建設が含やその後につき。の影節報化に総對に不可郷であつ。関軍の勝意を顕集し関連一致のも 頭唇如何はこの飛力 関長の土気の振起 で戦力増強に歩中し 動かつたのであるが、今回その度 あらう、山崎四和は既に認相としめとして関内における要別は相信 直紋の織的な現はれと見るべきで

協力を求めたことであって発力る「極何とたるであらう」 を遂げた 一般の 一般政策の政府への協力なさらに被 説問して長時間にわたり前要登録 れは政府と異談との関係を一階幣。政職毎に大院機権にのほった人。 内閣改造と各地の反響 こ一ての經驗済みで、大阪國務相求た

談した、兩大統 副総断、三好響原局長の内筋 東京電話】山崎内務次官 內務三役辭表提出

相の手許に辞表を提出した。 總統を訪問 諾首相、

は第一級の一兵に至るまでよ

對交方針に即應し其政伍と

脱察に関したの如く語った。配で記者との見今次華北郡で記者との見今次華北郡で記者との見今次華北 今次のわが對交方針に開して

> た監察公師からも現地の状況 **原路者とも勘談の機を得、** についていろく承り、

は近時武力的に全く舞動の徐 ただしここに 見巡し 難じの

彼らの弱欲の必がきとも見ら

れるのである この預空能なる宣傳がわが正

地を失つた幽呪中共産軍がわ

烟總司令官談

負担委員長はじめ難北の政府 今度觀察の機會に難北政結委

努力に對し感謝の念を深めた

つての抗酸卵塔の参加に引入 な支那の民衆を罪跡し再びか

途に連過すべき時であると信 たすら太東亞民族総力の結婚 せらるこの四個を関へず、 だすべきあらゆる意思を挑除 動を悩み、兩民族の常盟を配

ずるのである、不暇はここに

は作威智師の近任において

に國所治下における一切の

次第である

とは窓に依依に依ずる

日霊共同院の政規に悪強しあ

く食制問題と結びつけて無智

もつて彼らの逆角側に振

敵性蠢動を許さず

復興國府

の後楯

熱や生起するが如き一切の自

0

軍本然の代謝と今次對支

これが宣行に移りつくむり

現化刷新せられ、一方現地の 概意においてます

く内政を における中國側また今次のわ

販売移管、分散に力の集約な

るものであるが、日本人たる 値も効果もなきことを確信す 説の大方針の前には一個の個

地封殺してもつて世賊中國政

のとして極めて真大説してゐる。

基く昭和十八年度越来到策學網に

【東京世話】緊急物質對策要稱

概念のほか石造り十四五十銭の補

の兩面において世界的概想の主

六億五千萬圓 政府の**頁擔額**

た取官民の控別なく相互に相

九日郷統大本然にヒトラー源統を 首相ビドクン・キスリング氏は土 「ベルソン甘日同間」

で大なる独特がかけられ、殊に削煙のな施策の運然を置すものとし

能伝となったことも、共同の目的

北華

に刷し癌北官義筋で 北京廿一日同盟

は左の見解の下に談迎の意を表し

役割を果しつくある難北型酸を解談く大東亞河等下兵站が地的

さらに弱力にして、現質に即せる一方過酸南京を訪問して對難認識の

明朗かつ弱力なる同生技死の

ひ近代の服事にかいては世界 感情を激化すべざ過度順を行

難つて外称大臣に既依したいとは

には推進の上に項犬な一颗機を衝

中語大便直光器氏が谷外相の後を

完勝へ强力な展開

重光新外相へ絕大の期待

第光外務、山崎農林、大麻無任 のる、すなはち 場をさらに限化する決意を固めて 気器決版の微制をさらに環化するの別主たる製料日本が大東亞酸争 與の一大國策に向つて確乎たる立 湖洲國脈は北邊鎮護、勢日經濟器 ものとして全幅的協力態度を示し

國中

ところ配る大なるものがある。一一のがあちうとの見解をとつてある

に及ぼす影響も期して待つべきも すものとして、その中國民衆一般 に向つて連進する日華厥國の國内

に多大の活躍をなし、新中國建一日薬両陽別の市要問題、殊に中日薬両國門の市要問題、殊に中国・大阪には多年駐華大師として

印佛

今次の内閣改造に關 し営地では左のこと

> 細自給刺策の整備を底拠してある 織となるが、監林皆局ではこれに なり、これを従來の疑眈金二億回

であり、株に頂光、天羽両氏は、 大学が発見であり、株に頂光、天羽両氏は、 大学が発見であり、株に頂光、天羽両氏は、 大学が発見であり、大学のは他の 大学のである。今次内閣の造が、けるに至うた今日、日本内閣の改に「成友庭々たる瓦臓の状況をユーるものがある。今次内閣の造が、けるに至うた今日、日本内閣の改に「成友庭々たる瓦臓の状況を入し、人院にも が正る大学が入院として、大学 大学のである。今次内閣の造が、けるに至うた今日、日本内閣の改に「成友庭々たる瓦臓の状況をユー るものがある。今次内閣の造が、けるに至うた今日、日本内閣の改に「成友庭々たる瓦臓の状況をユー の一類として、大学 の一週として、大東新中國は東亞共栗圏 重慶、空襲季節に戦く

過去六年の

死者九千

千七百二十名となつてゐる所、燒夷弾一隅八千箇、死 施設の破場一萬一千百八十一ケ竹塵燥軽回数は百十三回、軍事

性を極力否定する反面、ポーランプラウタ紙は十九日の社説で、事

ト政権の態度を口を極めて非難し

西鲜

だモスコー脳週川既については、 手術を完了した、前國大風館は

見られる

字社に資相調査方を依頼したとい意間職を開催した結果、萬國亦十

以來大便館とともにクイビシエフ

に移動してゐたが、今回モスコー

ヒエート外人斡旋局との間にそ

大便酸附陸電武電器は一九四〇年

モスコーに帰還

わが陸軍武官室

ソ波破局へ

手續の簡捷化 【服東廿日同盟】空襲季節の到來

事前の属出で足ることゝし從つ 場合は命令をもつて定むる不開 め税限長の承認をうけた船舶は に出入し得ること」し同時に豫

者の申認に聴じて税関手続きを行 執務監御の職時化をはかる主旨よ 脚の特別に関する敷令は、税間の ひ得ること、したもので、従來の 全級にわたって服別は濁次活製化 【リスボン廿日同盟】チュニジャー

のため甚大な損害を振りながらも

早朝までに個願軍は突入部隊を包は燈輸貨庫地に到達したが、廿日 次々と新鋭部隊を繰出し一地監で

しいよく決戦の時期が迫つた模

ヨより世順することになった。ヒロ教験令とも近く公布のうへ五月一

ともに、廿日の閣議に附議決定

かして今回制定された関税法限時

例の要點は左の如く殿時中の磁

世 の酸下と、東北地域内への貨物 で の酸下と、東北地域内への貨物 を負物のを制たどは定衆税関系 の特許を要したのを活神の損害 の特許を要したのを活神の損害 でもつて足ることとした、 他つ

び臨時開願の特別に関する戦令案特別を制定、税関の執務時間およ

出來ることにしたこと
一、抗衛自嫁提出前でも飛り長の一、外國貿易に從
一、外國貿易に從
一、外國貿易に從
一、外國貿易に從
一、外國貿易に從

的改正を加へ税関手隊の動類的節

旦紐帶緊密化

食糧問題、物資交流等を協議

けふ大陸連絡會議開

長 關稅法戰時特例

【ストツクホルム十九日同盟】ス

虐殺事件紛糾

損害甚大

『東京覧語』大線省では咸時下線「樹化をはかる手間のもので、熊砂一一、保和運送の均合道路の開限を「東京覧語」大線省では咸時下線「樹化をはかる手間のもので、熊砂一一、保和運送の均合道路の開限を

一、外國貿易に從事する胎舶の不 開催出入は原則として認められ。 開催出入は原則として認められ。

兵部隊をもつて膨脱な敵にわたり 様だ、アンフイダブイル南方に布一〇一般波し、現在依然アンフイダブ 展開、横縁館の集中砲火と地震原 一然に逃撃を開始、空臨呼順して

樞軸軍反擊態勢

然は二十日の蔵記報告を補足して「質の前罪を楽したといはれてゐる「ベルリン二十日同盟」終続大本「職は今次冬季反政作説で夥しい兵 で、規軸軍は軍に防禦をけでな
型に極めて有利な地區に集結中 クバンの双橋頭像にある、チュ現在戦局の中心はチュニジャと

の確立の必要を力能、最後に

遊せしむると共に民衆をして行

し極力大陸商製紙派の大陸自足性 依存を脱却せればならぬ大陸路地域間の偽力を得て内地

部線放成に参加しつくある 登し、和本建國軍は圧主席 ぐ』と記して長文の通電を 将は十九日『近風料士に告 に反し、用魔将士はこく六

一世紀 第7世紀 7年 11 日 1 7年 11

国り横近の物館(つある語)を現状地に絡然におけ、次いで第二の生産権限については、19億万の物館(つある語)を現状地に終然におけ、次いで第二の生産権限については、19億万の物館(つある語)を現状地に終めた

に負荷されたる行政の徹底的下部

と関惑、道義朝鮮の確立と関係本

鄉務局長、海照武官府松本大佐ら 黎省新居國土局長、大東亞省竹內

切って景武台籍格官邸におけるを紹介、十一時四十分一まづ打

不管について耐怪がかねて抱慢、本質について耐怪がかねて抱機、用するものは人である』と前提、用するものは人である』と前提、用するものは人である』と前提

変頭その他を附藤玉頂を中心に各

場を総径所に移し各地の情況報告 ちた答解を述べた、かくて再び自

近部演出國際務即共自威強にみ

地の部力影響に入つて各地とも代

ザーバー企政院秋永第一部長、内

題を紹介、次いで井原参謀長よ一力の必要につき次の城く陸繆瀬朝における項要政策並びに可要問一る大陸蔣地域間の密接不離なる協

ら武宗総務長官が満洲國の邦記(信念につき率臨明県に述べたのちが陽東帝の耶懐紹介、十一時か した、町ち先づ越悟は小嬴斌理のが経済があり、一日のでは、一日のでは、一日のでは、一日のでは、一日のでは、「日本の

力の必要につき次の姉く挨拶強調

院の相互援助関係の無償を一般一原参謀長の委員十七名さらにオブ

気の指揮を楽したといはれてゐる が、當地に達した問報によればシー

府政事委員會聯參說長國上「衛京十九日同盟」國民政 鲍上將、 戦局の中心はチュニジャとクバン

てゐたが、これは不可である。

抗戦の迷夢から醒めよ

國の自由英立を獲得した國 要失せる領域にあって抗戦 府の現狀を説いて彼の述妄 とくもに、遊販とくもに中 を関することなきを吸ずる 重慶將士へ通電 を設し、恍せて抗戦名目を

ユニジヤ戦況愈々活潑化 資敵の結を物能るものであると見

一機であった・

局の競表によれば、四月十六日

百七十五機喪失 赤軍、四日間に

部版紙で喪失した飛行機は合計で

土が泥ってあることはソ畷の人的かなり多数のトルキスタン出身に またドイツ軍所は赤馬部隊の中に

- 平瀬地方法院長不附判却 長谷川 平塊複審法院判形本部判 細景賊糧審法院判形本部判 。 一 高等法院判患本所判事 京城沒審法院長本府判事 松

大邱搜索法院判法本府判事

ノ白純 品製

サルドロール

マース道密 九吋

E3

止歩ノ高層

(2)

高速度粉碎機

泰昭・乾燥草・豆碗・化學工業・葉小魚粉・初窓・カキ殻・木片粉末・豆大豆・黄粉・脱脂糖・高粱・唐モロ・

元 貿 簽 遭 嬰 **折作製械機正井上** 實力九分 100年以表代數值 〇三即學院編纂550中時 11.4 實力九分 120個 120個 120個 11.4 第次20五四與齡級職 三三目了一即繼大稱以論 所來签款额

→ 一日『あかつき』で協城一日『あかつき』で協城 【納即富豐庫在】

産特方南。 えばり

二,000 三円の八日の人

サラつと爽やかく 肌の弾力 岩さを くる。





し、わが家の健康陣を築し、わが家の健康陣を築用 奉公を完うできるよう…… さませう。 む そろって元気で職域 決戰下 子も親も

マスターデク 房藥井新日丁二酒門大南府城京元賣販鮮朝

完全消化に

所究研學化藥實鐘 副明晶市京東 町現曜非大

内地の權威招いて講習會

PINTONE

品製內之山

ふの市況(廿1日)

後

或

ولماً ا

たり

か が

防 陣 [2]

あるのは朝鮮恩村の最も緊要なの質問に順じ候補着の申合等に保わる政権をます。(一葉固ならし、一二、戸訓勧問、戸別訪問は地方の花観をます。(一葉固ならし、一二、戸訓勧問、戸別訪問は地方の大学の大学の大学の

賑ふ櫻若葉の九段

岩手部隊と早朝の冷気を動いて無

36 子 藤 川 五 五 金 坦

幸信!

非

訓訓

中川

楘

儀

造社

カナダの現有兵力

けてある慰徒の観史観光養成際は「既認及後廷」か化安衛観査図「智工地路超を目指して毎年端力を経」成の二百名(藤正弘山碑奈川端和二十二十7) 3

際を最終に、四周参加省原は全部一年後二時五十分東京勝著の開降部

他国會一設開場へ、第三中隊は東京、

服勢に降する府齊議員、面協議 ト情を上通して旅カー丸、 決職

られることへなったが本指敵制

臨時救護看護婦任命式

不和をみなの決意

美しい同情金 踏りい中

送呈款

道部長嫌成の

日

加を激

側

の行軍に移ったが異さんたち ホートと元氣一杯の開前のを

功德山德 林

藤不證券曾紅呆城叉店 望工業新 株の 妙

٤.٠٠

れ影響を最 時一は日平 映開分十三 ||高峰三校子 ||上原 || 議代 給此 昆供 明鲜映画配 明治 のだ! 東京の或る隣組は、 東京の或る隣組は、 東京の或る隣組は、 を と でましく戦つた。 將 問 共 實 將浩 村野 實 谷流 即三公村吉

田 滴





天然スレート 東洋語が記した九番

ントナイト

藻 土 H 差川でジーノニハ 商

戸 設會

謝類燒御見舞 一生命保險相互會社

心容"或是思申及大量以 (保管連定)

EXIZE

。岭重工妙味

「「不を見逃す勿れ、中 「不工を見逃す勿れ、中 飛行機と船、製鋼の一